



読み聞かせ風  
少女体験談 その7



今回の露出はAちゃんの  
希望通り前回と同じ  
公園で行われました。

ドキッ  
ドキッ

今回もいくつかルールが  
定められていました。



語尾に「わん」を  
付けてしゃべる事。

ご主人様の  
命令には逆らわ  
ないこと。



ご主人様が指定した物  
以外は着用禁止。



マーキングを複数個所  
行う事が今回のルールに  
なりました。



そしてAちゃんが  
一番楽しみにしているプレイ



全裸で歩くAちゃんは  
とても嬉しそうでした。



Hちゃんがリードを  
引きました。

お散歩開始の  
合図を受け  
Aちゃんは歩き  
出しました。

恥ずかしそうに  
顔を下げたり、  
立ち止まったり、  
姿が目立ちました。







フ...

H「おすわり。」

A「わん。」



H「最初だから横道で落ち着いてやろうね。」



H「おっい。」

A「ちゃんの大好きなマーキングが始まりました。」

しゃあ



少しだけ出させて  
おしっこをやめさせ  
ました。

スッ



「おっ。」

ピタッ



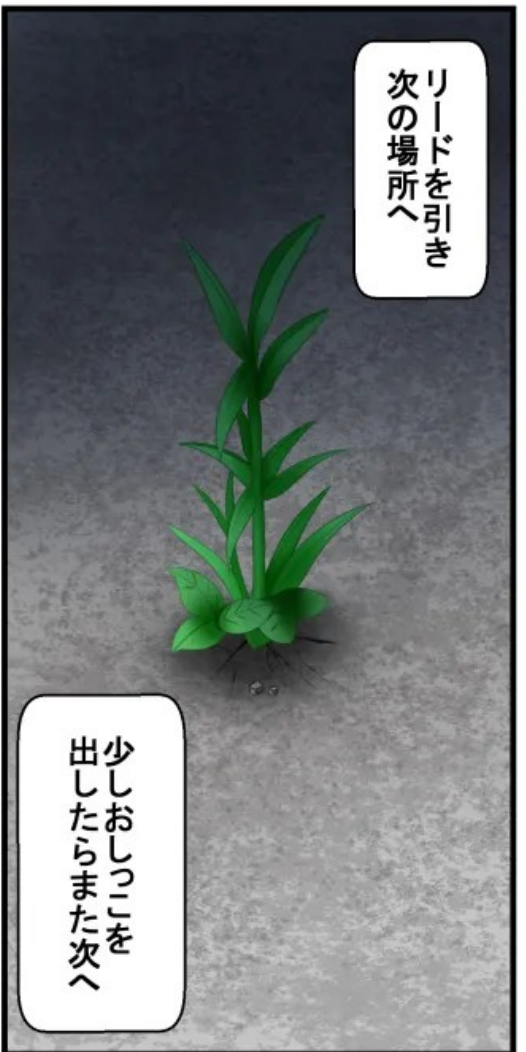
今回の目的は  
複数の場所で  
マーキングをする  
事。

Aちゃんもその事は  
理解しているので  
素直に従いました。



二人はこの行為を  
繰り返して行きました。

しゃあ



リードを引き  
次の場所へ

少しおしっこを  
出したらまた次へ



H「立ちながらするの  
も気持ちいいですよ。  
おしっこも全裸も  
しっかり見えてるよ。」



H「今度は足を上げ  
ないで、足を伝う  
ように出してみて。」

ちゅちゅ  
ちゅちゅ



前から二人組が  
歩いて来ました。



最後はどうしようか  
と考えていた時。

なご  
なご

おしっこはあと一回分。  
楽しい時間も次でおわり。





二人は足を止め  
Aちゃんをまじまじと  
見つめていました。



その間も金髪の  
女の子はAちゃんの  
事を複雑な表情で  
見つめていました。



Hちゃんは二人に  
話し掛けていました。



話が終わり  
Aちゃんの方に  
振り返り  
こう伝えました。



H「お返事は？」



H「おっ」

H「二人も見てくれる  
事になったからね。  
ご主人様の言いつけを  
守るいい子な所を  
見せてあげようね♪」



A「わ、わん。」



二人の表情は  
穏やかでこんな  
状況でもAちゃんは  
安心することが  
できました。



わく  
わく



キラ  
キラ



この視線は  
Aちゃんを「興奮」  
させました。



それに対して  
金髪の子はAちゃんを  
ゴミを見るように  
見つめていました。



あの視線を長く  
味わいたい。

そう思いAちゃんは  
おしっこをできるだけ  
弱めに出しました。



Aちゃんの努力も  
空しく1分の時間も  
稼ぐ事はできません  
でした。





A「まだ終わってません。  
最後まで見てくださいわん。」

Aちゃんは立ち上がり  
自慰行為を始めました。

くちゅ



Hちゃんが  
終わりを告げる言葉を  
二人にかけていました。

H「ありがとうございます。」



A「まだ、ダメ。」

A「もう少しだけ。」



ザッ





見られる事を恥ずかし  
がつていたのに自ら  
自慰行為を行った  
かわいいペットに労いの  
言葉をかけました。

H「休め。」



二人は最後まで  
見届けてから  
立ち去りました。

ポーン  
ポーン



あやのちゃん頑張ったね。  
その格好で好きなだけ  
休んでいいよ。

ありがとう  
ございますわん♪

この格好とっても  
恥ずかしくて  
気持ちいいわん♡

## あとがき

あやのちゃんがど変態になっていくことに作者と  
ふみかちゃんは大喜びです。あやのちゃんメインで話を  
進めてきたのでふみかちゃんの話も少し描いて  
いきたいと思っています。

コツコツ頑張っていくのでこれからもろくごープラスを  
よろしくお願ひします。

さくさく

あやのちゃんが  
お外で全裸になっ  
てお散歩してくれ  
てうれしいなあ。

どこまでの命令なら  
聞いてくれるかな？  
全裸登下校、  
昼間の全裸散歩は  
無理かな？



# おまけ



14ページで語尾に「わん」を付けてないあやのちゃん。オナニーすることでお仕置きは免除されています。

なので、16ページ最終コマをお仕置きバージョンにしてみました。

